



2025年8月6日

DF 会員の皆様

一般社団法人ディレクトフォース
地域デザイン本部 本部長 段谷 芳彦

(ご案内) 第 11 回地域デザイン総研勉強会
会員必見！牧野篤先生講演会

「～広い世界から深い宇宙へ～満足して最期を迎えるための処方箋」

次回の講演交流会では、DF「地域デザイン総合研究所」所長であり、4月からDF会員となられた牧野篤先生にご講演いただきます。

牧野先生は、「生涯学習」「地方創生」「中国の教育」など幅広いテーマを研究されており、近著『「ちいさな社会」を愉しく生きる』では、高齢化や過疎化に直面する地域での実践をもとに、豊かな老いのあり方や居心地のよいコミュニティについて提案されています。

今回の講演では、「サクセスフル・エイジング」を体現するDF会員の歩みの“その先”にある生き方を見つめ、人生100年時代における新たな視点を示していただきます。牧野先生の深い洞察と温かい示唆に富んだ講演にぜひご参加ください。

日 時：2025年9月8日（月）15：00～17：00

※質疑応答含む。※講演会后、懇談会を予定しています（～18：00）

場 所：航空会館ビジネスフォーラム 901会議室 東京都港区新橋1丁目18-1

+Zoom（ハイブリッド開催）

演 題：「?広い世界から深い宇宙へ-満足して最期を迎えるための処方箋」

講 師： 牧野 篤 氏 ディレクトフォース地域デザイン総合研究所所長、

大正大学地域創生学部教授 東京大学名誉教授 中央教育審議会生涯学習分科会委員

参加費：1,500円



<講演者よりメッセージ>

企業社会で活躍された DF の会員の皆さんは、退職後も、そのままステージを変えて広い社会で活躍されています。DF はいわゆるサクセスフル・エイジングを体現した団体だといえます。しかし、DF 会員へのインタビューからは、DF の活動についていけなくなる時がやってくる、そしてその後の帰還先は家庭という極めて狭い関係であることが示唆されます。そして、このような移行は、広く活躍した後の孤独のようなイメージを抱かせます。この最期の一時期をどのように過ごすのが、人生 100 年時代における大きな課題となっています。それを自分が次の世代の「ふるさと」となる新しい生き方としてとらえ返し、そのあり方を模索してみたいと思います。誰もが満足して一生を終えられる社会を考えます。新しいテキストブロックです。メッセージを入力してください。

<牧野篤様ご略歴>

大正大学地域創生学部教授 東京大学名誉教授 中央教育審議会生涯学習分科会委員
専門は生涯学習、地域づくり、教育社会学。東京大学大学院教育学研究科教授（2008～2025 年）、高齢社会総合研究機構副機構長（併任）などを歴任。名古屋大学でも長く教育研究に従事。

DF では 2023 年より理事、2024 年より地域デザイン総合研究所所長を務める。人生 100 年時代の学びと社会参加を中心に、高齢期の新たな生き方の可能性を実践と、研究の両面から追究している。

近著：

「ちいさな社会」を愉しく生きる ー広い世界から、深い宇宙へ」（さくら舎 2024 年）

「公民館を再発明する：小さな社会をたくさんつくる - 3 -」（東京大学出版会 2024 年）

『「つくる生活」がおもしろい 小さなことから始める地域おこし、まちづくり』（さくら舎 2017）ほか多数

お申込みは、下記申込フォームからお願いいたします。

申し込みフォーム

お申し込みは **9月1日（月）** までにお願ひ致します。

お問合せ：宮武里美 smiyatake@directforce.org

岡田知之 tokada@directforce.org